

# 高齢者福祉の充実と支え合いの福祉社会づくり

予算額 3,048,820千円

長寿介護課 ①②③④⑤ 224-3327

地域福祉課 ⑥⑦⑧⑨⑩⑪ 224-2256



介護サービスを必要とする高齢者が依然として多いことから、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、特別養護老人ホーム等の施設整備を支援するとともに、介護予防を含めた地域包括ケアや高齢者の虐待防止を含めた認知症対策等に取り組みます。

また、判断能力に不安のある人たちの日常生活を支援する取組を進めるとともに、生活困窮者自立支援制度の円滑な実施に向けて体制整備を進めます。さらに、福祉人材の確保・育成を図るとともに、だれもが自由に行動し、安全で快適に生活できるユニバーサルデザインのまちづくりを進めます。

## 施設の整備

- ①介護サービス基盤整備補助金 予算額 1,377,413千円  
施設サービスを必要とする高齢者が、できるだけ円滑に入所できるよう、特別養護老人ホーム等の整備を支援します。
- ②介護基盤緊急整備等特別対策事業 予算額 779,216千円  
小規模特別養護老人ホーム、認知症高齢者グループホーム等の地域介護拠点の整備等を支援します。
- ③施設開設準備経費助成等特別対策事業 予算額 263,960千円  
特別養護老人ホーム等の開設準備等に要する経費を助成します。



## 地域包括ケア・認知症対策等

- ④地域包括ケア推進・支援事業 予算額 4,099千円  
地域住民が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域包括支援センターを中心とした地域包括ケアの充実に向けた取組を支援します。また、市町における介護予防の効果的な取組を支援します。
- ⑤認知症対策研修・支援事業 予算額 40,362千円  
「認知症疾患医療センター」の指定を行うとともに、介護、医療の連携強化や認知症サポーターの養成など、地域における支援体制の構築を推進します。また、高齢者の虐待防止など権利擁護のための研修を実施します。



高齢者福祉の充実

支え合いの福祉社会づくり

## 支え合い体制づくり

- ⑥日常生活自立支援事業 予算額 140,935千円  
判断能力に不安のある認知症高齢者や知的障がい者等の日常生活を支援するため、福祉サービスの利用援助等を行う県社会福祉協議会の活動を支援します。
- (新)⑦生活困窮者自立支援制度施行円滑化特別対策事業 予算額 262,002千円  
生活困窮者自立支援法の施行に向けて、市町が先行的に実施するモデル事業を支援するほか、地域における生活困窮者や社会資源の実態把握などを行うことにより、新制度が円滑に実施できるよう必要な体制整備を進めます。

## 人材の確保・育成

- ⑧福祉人材センター運営事業【緊急課題解決4】 予算額 41,452千円  
福祉・介護職場にかかる求人・求職情報を集約し、無料職業紹介や福祉職場説明会の実施など、福祉・介護人材確保のための相談・支援を行います。
- ⑨福祉・介護人材確保緊急支援事業 予算額 28,136千円  
離職者等に対する介護職員初任者研修課程の取得や就労支援、学生等に対する福祉・介護の魅力発信、小規模事業所等への支援などを行います。

## ユニバーサルデザインの三重づくり

- ⑩三重おもいやり駐車場利用証制度展開事業  
【新しい豊かさ協創5】 予算額 3,022千円  
必要な方に利用証を交付するとともに、事業者等に「おもいやり駐車場」の登録について協力を依頼するほか、市町やユニバーサルデザインアドバイザーなど、さまざまな主体と連携して制度の普及啓発に取り組みます。
- ⑪地域公共交通バリア解消促進事業 予算額 108,223千円  
鉄道事業者が行う駅舎のバリアフリー化に対し支援します。